

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名				砂川樫井線新設事業				②事業番号		5106				
③事業類型		5. 普通建設事業			④開始年度		昭和 51 年度		⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし			
⑥根拠法令等		○ 法令	条例	規則	要綱	○ 計画等	その他	法令等の名称		都市計画法				
⑦実施手法		直営	全部委託	○ 一部委託	補助・負担	その他								
⑧関連予算科目コード			款	7		項	4		目	6		細目	1	
⑨担当部名			⑩担当課名								会計	一般会計		
都市整備部			道路課											

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている ア. 程度 ウ. いない	定められた諸基準に適合するよう、計画・設計をしている。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

B

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている ア. 程度 ウ. いない	用地買収が順調に推移している。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある ア. ない	関係機関との協議を進めることにより、成果向上の余地を検討する。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし ア. できる ウ. できない	他部署で類似の目的を持つ事務事業なし。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

B

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではありませんか。)	ア. ある ア. ない	設計内容の精査により、コスト削減を目指す。
---	--	-----------------------

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	道路利用者の安全性、利便性の向上が期待できるので、供用に向け鋭意取り組む必要がある。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)

①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—